

あらぶんちよ散歩 vol.092

ほんごうろくちょうめ

# 本郷六丁目



東大の向かい側に広がる本郷六丁目。昔は森川町と呼ばれ、町内には石川啄木や徳田秋声などの文人が多く住んだそう。新しいビルに混じって明治・大正期から続くお店や建物もあり、散策しがいのあるまちです。

樋口一葉の生涯をすくろくにした、恋すくろく(1,000円)はたばこ屋さんの香月商店で購入できます

Map

今月の正しいウォーク  
8650歩  
アップダウンが激しく  
健脚家向けのエリアです



**1 森川水産 魚安**

〒東京都文京区本郷6-21-9  
☎03-3811-4037  
🕒11:00~18:30  
📅休日・祝

**2 喫茶ルオー**

〒東京都文京区本郷6-11-14  
☎03-3811-1808  
🕒9:30~20:00  
(土~17:00、祝~16:00)  
📅休日

**3 あさひや**

〒東京都文京区本郷6-17-6  
☎03-3811-6933  
🕒11:00~18:00  
(土~15:00)  
📅休日・祝

**4 ルヴェソンヴェール本郷**

〒東京都文京区本郷6-16-4  
☎03-5840-8088  
🕒11:30~14:00LO  
17:00~21:00LO  
📅休無休(貸切の場合休み)

**5 emma**

〒東京都文京区本郷6-17-2  
☎03-3813-8905  
🕒月~金11:30~13:30  
月~土18:00~22:30LO  
📅休日・月祝(月祝の翌日はランチ休)

マイタウン ヒーロー  
**森川町会 会長 松尾 紀彦さん**

大名屋敷から文人のまち——変わり続ける本郷

この辺りは江戸時代、江戸防備のために常駐していた森川氏に由来して森川宿と呼ばれていました。岡崎藩本多家の屋敷があり、東大側にあった加賀藩お抱えの加賀鷹の方々が、僕らの子どもの頃まで町内に住んでいました。そんな土地だから、昔は建て替え工事をする小判が出てくることも。明治期になって、本多家の屋敷と森川家の屋敷を併せて「森川町」になりました(今の5丁目と西片の一部が入る範囲)。「フォーレスト本郷」の前にある宮前広場には「映世神社」という神社や

煉瓦の交番があったんですよ。昔は文人も多く住んでいて、下宿を前身とする旅館が20年程前までは町内に6、7軒はありましたが、今は「鳳明館 森川別館」だけに。新しいマンションが増えて、まちの景観はどんどん変化していきませんが、住民の人情は昔と変わらないつもりです。夏の町会行事としては、根津神社の神輿渡御と盆踊りを隔年で行なっていて、今年は盆踊り。当日は縁日が出たり、「魚安」のマグロ解体ショーが行なわれたり、盛り上がりますので是非お越しください!



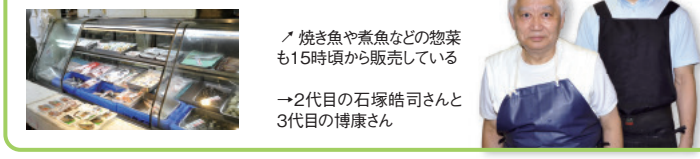
↑町会の出店でヨーヨー釣りや縁日も。→やぐらを組み2日間開催したことも

**夏まつり盆踊り大会**  
8/23(日)宮前広場にて

**1 森川水産 魚安**

おいしい魚をあつかう  
明治期創業の魚屋さん

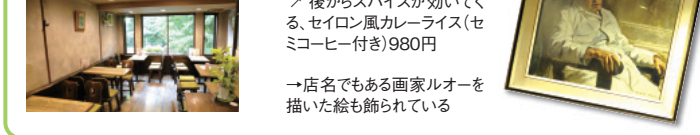
本マグロをはじめ国産の良質な魚介類をあつかう老舗の魚屋さん。旬の魚や調理法も親切に教えてくれるので、魚をおいしくいただける。また、年3回、文京アカデミーと一緒に「魚のおろし方教室」も行なっている。



**2 喫茶ルオー**

ゆったりとした時間の流れる雰囲気の良い喫茶店

前身が画廊喫茶だったそうで、店内には多くの絵が飾られている。珈琲豆は宮内庁御用達の小林商店のものを使用。ほどよい苦みと深みが上品な味わいだ。野菜の甘みが詰まった英国の家庭風だというカレーも人気。



ノ 焼き魚や煮魚などの惣菜も15時頃から販売している  
→2代目の石塚皓司さんと3代目の博康さん

ノ 後からスパイスが効いてくる、セイロン風カレーライス(セミコーヒータン付き)980円  
→店名でもある画家ルオーを描いた絵も飾られている

**3 あさひや**

古き良き蕎麦屋の風情と  
のど越しのよい蕎麦

代々受け継いだ味を絶やさぬようにと蕎麦もつゆも自家製。創業当時から継ぎ足してきた元つゆをベースに作るまるみのある甘辛さが特徴の蕎麦つゆは、のど越しのよい蕎麦との相性もいい。もりが500円という価格も良心的。



ノ 冷やしむじなそば(揚げ玉・油揚げ)800円  
→メニューのイラストも手がける、3代目の岡田大助さん



**4 ルヴェソンヴェール本郷**

隠れ家レストランでいただく  
京野菜を使ったフレンチ

フランスの星付きレストランで修業したシェフが紡ぐ、京野菜や和血を使った季節感あふれる料理が楽しめる。料理は月替わりで、ランチは3コース、ディナーはおすすめコース(7,560円)とブリフィクスコース(4,320円)から選べる。目で舌で味わって。



ノ 肉か魚かメインを選べるランチAコース1,728円。京野菜は京都直送の減農薬のものを使用  
→マネージャーの佐々木光明さん(左)とシェフの山口卓也さん(右)



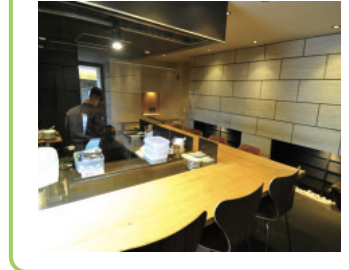
**5 emma**

こだわりの鶏と卵を使った  
やきとりと甘味が楽しめる

ここで生まれ育った青木さんがパティシエの奥さまと2人で営む炭火やきとり&甘味のお店。素材にこだわり、備長炭で焼きあげるやきとりには筑波の桜どりを、お刺身には青森県のシャモロックを使用。モダンな雰囲気の店内でやきとりと自慢のスイーツをどうぞ。



ノ お昼は親子丼750円のみ(味噌汁、お新香付き)  
→「店名は愛犬の名前から」と笑う青木栄一さんと奥さまの真澄さん



歴史  
**石川啄木や徳田秋声など  
文人たちが多く住んだエリア**

かつてこの辺り(旧森川町)には下宿屋が多く、石川啄木や二葉亭四迷、宇野浩二らが住んだ文人のまち、書生のまちだったそうです。石川啄木が住んでいた蓋平館別荘や、明治38年に建てられた木造3階建ての巨大アパート本郷館など、たくさんあった下宿や旅館は老朽化などで取り壊されて現在はマンションなどに。唯一残る旅館の「鳳明館 森川別館」に、当時の面影を見ることが出来ます。町内に住んだ自然主義文学の第一人者として知られる徳田秋声の旧宅は、手入れされて今もきれいに残っています。



→徳田秋声旧宅は現在も居住者が見学の際はお静かに  
→鳳明館 森川別館に宿泊し文豪気分!

TOPIC  
**東京都指定有形文化財の  
レトロモダンな求道会館**

求道会館は、浄土真宗の僧侶で欧州留学の経験もある近角常観が説法の場として建設した。設計は日本にアールヌーボーやゼセッションを紹介した建築家・武田五一で、仏教寺院本堂でありながら煉瓦作りの教会風。和洋折衷の大胆な意匠で、東京都指定有形文化財になっています。大正4年創建当初の姿に復元された平成14年オープン後は、コンサートや講演会など、さまざまな催しの会場にも。毎月第4土曜日の13~14時半は一般公開の日で建物の中を見学することができます。

求道会館 運営事務局  
☎03-5842-4803 毎月水金13:00~17:00  
<http://www.kyudo-kaikan.org/>



↑東京に現存する貴重な武田五一の作品  
↑六角堂と教会風の空間が見事に融合した大会堂